

私の趣味は……

私は、今年三月に一六年間勤務した職場を退職し、専業主婦一年生となりました。この一六年の間に、結婚・出産を経験し、息子は小学生になりました。仕事と家庭の両立は常に私の最大の課題であり、目標であり、生活そのものでした。そんな中、「退職」という人生の転機を迎え専業主婦生活が始まりましたが、これまで毎日が時間との戦い(?!?)の暮らしが一変し、今まで勤務していた時間全てを家族と自分のために使うことができるようになりました。さて、どう暮らすことが家族や自分にとってベストなのか? そのようなことは今まで時間に追われて考えたこともありませんでした。「趣味を楽しむ」なんてこともしばらく考えざる余裕もなかった毎日生活してきた

ことに気づきました。自分の時間をもてるようになった今、「趣味を楽しむ」という生活は豊かな人間へと成長し豊かな人生を送ることの一步なのではないかと考えるようになりました。といっても長い間、まさに無趣味ともいえる生活をしてきた私。これではいけない! これまでの生活や経験を生かして「趣味を楽しむ」生活をはじめなければ……。

「家庭菜園・ガーデニング」の時間

数年前から自宅の庭に少々野菜や花を植え、ほんの少しの収穫を楽しんできました。今年は、家庭菜園の面積を二倍に増やし、苗や種も昨年の二倍ほど植えました。土づくりにも時間を

かけ、畑にはミミズの姿が多くなり、苦手な私は日々悪戦苦闘です。できることならミミズが出てこないことを祈りつつ耕していますが、ミミズのおかげで土が元気になるのですから我慢するしかありません。今でもミミズがニョロツと出てくるたびに「ギャー」と騒ぎつつ、いつかミミズをかわいいと思える日が来ると信じて頑張っています。

さて、今年の我が家の畑ですが、まだまだ初心者のため、北海道で育てやすいといわれている、じゃがいも・ピーマン・なす・かぼちゃ・きゅうり・ササギ豆・えんどう豆・いちご・とうもろこし・ミニトマトを植えました。家庭菜園の良いところは、無農薬の新鮮なもぎたて野菜を食べられること、

久嶋 綾

元市役所職員

profile

【くしま あや】1972年北海道生まれ。短大卒業後、市職員となり、主に福祉、教育分野の業務を担当し平成21年3月退職。

収穫が楽しみな畑のジャガイモたち



玄関横のガーデニング

息子と野菜の成長を観察できること、ご近所の方と育て方の情報交換や収穫した野菜を交換し合えること、そして、何より生き物を育てその命を感謝の気持ちでいただくことができることではないかと思えます。種を植え小さな芽が出てきたときは、なんともいえぬ喜びや愛おしさを感じます。三〇代の私にとって畑いじりの時間はかなり地味ですが、忙しくて機械化した世の中と少し距離をおける穏やかで幸せな時間なのかもしれません。

また、家庭菜園は、肥料を施す時期、種の蒔き方、間引きの仕方……どれも

簡単そうで難しい。やり方がよくわからず日々勉強です。私はラッキーなことに、何十年も家庭菜園を経験されてきたお隣のおばあちゃんという、最高の先生に習うことができます。本で調べても載っていないような、ちよつとしたコツなど伝授してくれます。これからも毎年経験をつみ、おばあちゃんに指導を受けながら豊作の畑を目指したいと思っています。

畑のほか、玄関横には小さな庭があります。これまで花より雑草が我が物顔で生え雑草抜きをするだけでタイムオーバー。素敵な花壇にそこができました。今年は「ガーデニング教室」へ出かけ、玄関前を華やかにすることができました。今はレンガを並べて花壇づくりの途中です。レンガ並べ

は女性にはできない力仕事だと思い今までやったこともありませんでしたが、実際やってみると配色や並べ方をデザインするなど女性に向いているような気がしました。並んだレンガは職人さんのようにまっすぐではありませんが、ここには何色の花を植えたらきれいになるだろう？ などと楽しんでいます。毎日水やり、花がらつみなどきれいな花を咲かせ続けるために大切に育て、四季折々の花が咲く年中花がいっぱいの庭にし、いつも花に癒される生活ができればいいと思います。

「お菓子作り」の時間

最近の食の問題は大変気になります。これから大人へと成長する息子には、できれば手作りのおやつを食べさせたいと思っていました。慣れないためになかなかできずにいました。手作りお菓子は市販のお菓子に比べ添加物を減らすことができますし、小麦粉を国産のものにするなど、自分で安全な材料を選んで作ることができます。また、何回か作るうちに、レシピどおり作るのではなく、糖分、塩分、油脂などの量を少な目にしたたり、材料に野菜を加えたりなどと工夫することができるので、自分なりに体に良いおやつを作ることができます。手作りお菓子は失敗も多々ありますが、焼きたてとい



手作り「クルミケーキ」

うおいしさが味をカバーしてくれるようです。私にとってお菓子作りはオーブンで焼いている途中の膨らんでいく生地を見たり、匂いをかいだり、出来上がりを想像するなど楽しい時間です。そして、お菓子が大好きな息子と夫がとりあつてケーキを食べる姿を見ると、私の楽しみであり家族の楽しみにもなっているようです。今は週一回程度初心者でも作ることのできるクッキーやケーキを作っていますが、レパートリーを増やし、友達の家にもおみやげにもって行けるようなお菓子を作ることができるよう経験を積みみたいと思っています。また、機会があればお菓子作り教室にも通いたいと思っています。

「手芸」の時間

手芸は子どもの頃から好きで唯一の私の趣味と言えるかもしれません。縫い物ではミシンや手縫いでパジャマやスカートを作ったり人形や布おもちゃを作ったりしてきました。その他、籐でかごを編んだり、ハマグリを使ってお雛様を作ったり、レースで敷物を作ったりなど手先を使う手芸が好きでいろいろと作ってきました。子育てがはじまるとゆつくり手芸をする時間をとることができなくなり、退職の機会に再開しようとした感じがします。あまり長時間作り続けると肩が凝って辛いので、ちよつとした家事の合間に、気分転換をかねてこつこつと作業し完成させていきます。今まで作ったもので一番のお気に入りには、息子の誕生を心待ちにしながら作った「布絵本」です。「布絵本」とは、その名のとおり布で手作りした絵本ですが、読み聞かせるほかに赤ちゃんが触って遊ぶことができるもので、多くのことに興味をもつ赤ちゃんにはとても優しいおもちゃになります。息子は「いないいないばあ」ができる布絵本を喜んで触ったり見たりしていました。今は、祖母の形見のスカートがたくさんあるので、その生地を使いパッチワークで再利用してポーチや敷物を作っているところです。で

きあがれば、眠っていた形見のスカートを生き返らせることができるので使うのが楽しみです。うまくできたら、母や妹にもプレゼントし祖母の形見を大切に使用していきたいと考えています。

「町内会・PTA活動」の時間

これは趣味とは違いますが、これらの活動に参加することも勉強であり人生を豊かにしてくれるのではないかと思います。

どこの町内会でも後継者不足で苦勞していることと思います。九年前に新築した自宅はちょうど町内会館の前でした。その影響もあり、ここに住んでから町内会の行事に参加する機会が多くなりました。「役員の後継者は若い人に」との考えからか、昨年、我が家が役員に推薦され、町内会活動に参加する機会も増えました。町内会は住みよい地域づくりをしていくために必要な活動だと思えますが、いろいろな考え方が住んでいるので、まずは町内会活動に参加し、地域の方と顔見知りになることから始めているところです。活動に参加すると、地域のために一生懸命活動されている方と関わることができ、私自身も微力ではあっても一緒に活動していきたいと感じます。そして、今年からはこれまで勤務のた



手芸の作品 「3匹のこぶたの人形」・「籐のかご」・
「はまぐりのお雛様」・「レースの敷物」

「いないいないばあ」の布絵本

め参加できなかった平日の活動にも参加することが楽しみです。

また、PTA活動として、四月から通学路を巡視するボランティアに登録しました。これは、都合のよい時に通

学している児童を見守り、何か気になる点があれば学校に連絡するというもので、運動不足解消にもなり一石二鳥です。私が小学生の頃は、あえてボランティアが巡視しなくても登下校が危険であるとは考えたこともありませんでした。実際には巡視を行うと、登校時間では出勤のために猛スピードで歩行者を無視した運転をする車がいかに多いか驚かされました。本来であれば大人が子どものお手本になるべきですが、現代は、自分の身を自分で守る生き方を伝えながら子育てしなければならぬことを学びました。

少子化の時代、地域の力が学校を支えることにもつながると思います。行政ではできない活動を、行政にかかわってきた経験を少しでも役立て、参加していくことが今の目標です。

「懸賞応募」の時間

趣味というには恥ずかしいのですが、懸賞応募はひそかな楽しみです。また、不況時代を乗り切るアイテム(?!?)でもあります。いろいろな懸賞に応募することで当選回数も増えるようです。といつてもこれまでの当選品は「味噌・米セット」「イチゴ一箱」「温泉ペア入浴券」「肥料」「洗剤」ぐらい……。夢の「自家用車」当選はありえないのかもしれないが、宅配便の車が家の

前に停まると何か当たったのではないかとドキドキしてしまいます。(もちろん関係ないことの方が多いのですが) 当選率をアップさせるために、丁寧な文字で応募はがきを書いたり、地元や会員限定の懸賞に応募するなど工夫も必要です。また、一つの懸賞には一通のみ応募することで勝負することにし、当選した時はその一通が当たったことを喜んでいきます。

また、より確実に商品を当てるには、企業アンケートにメールで回答し、ポイントをとためて商品券にするものがあります。かなり地道にアンケートに答えなければ商品券に交換できるポイントに達しませんが、アンケートは企業の商品開発などにも参加していることになるので、少しは社会参加できているのかなという満足感もあります。このちよつとしたお楽しみ懸賞応募で夢の「自家用車」を狙い続けます!

「私の趣味は……」この言葉に続くものをもっともつと増やし特技に変えていきたいと思えます。そして、自分の趣味に凝りすぎず、家事の合間に数多くの趣味を楽しめるような時間使いの達人にもなりたいと思えます。

また、これからより豊かな人生を送るため日々いろいろなことを学ぼうとする気持ちを大切にしていきたいと思えます。